

SAKU GENERAL CLINIC



帯状疱疹ワクチン



院長解説動画は、インスタや
YouTubeをご覧ください

なぜ、今なのか？



公費助成開始

令和7年度より定期接種化。対象者は費用負担が軽減。



高い予防効果

50歳以上で97%以上の有効性。効果は10年以上持続。



新たな付加価値

認知症や心血管イベントのリスク低減効果が示唆。

令和7年度(2025) 定期接種対象者

区分	対象年齢（当該年度に達する年齢）
原則対象者	 65歳
経過措置 (2025～2029年度)	 70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳
特例措置 (2025年度のみ)	 100歳以上のすべての方

※65歳未満でもリスクが心配な方は定期接種対象外ですが、早期の任意接種を強く推奨します。

【重要】公費で完了するためのスケジュール

令和7年度内（令和8年3月末まで）に2回接種を完了
する必要があります。



今すぐ

当院へご予約・ご相談
ワクチンの確保



1月末まで

1回目の接種期限
ここを過ぎると年度内完了不可



3月末まで

2回目の接種
(1回目から2ヶ月後)



4月以降

接種完了
10年以上の安心へ



注意：1回目の接種が2月以降になると、2回目が翌年度となり公費対象外になります。

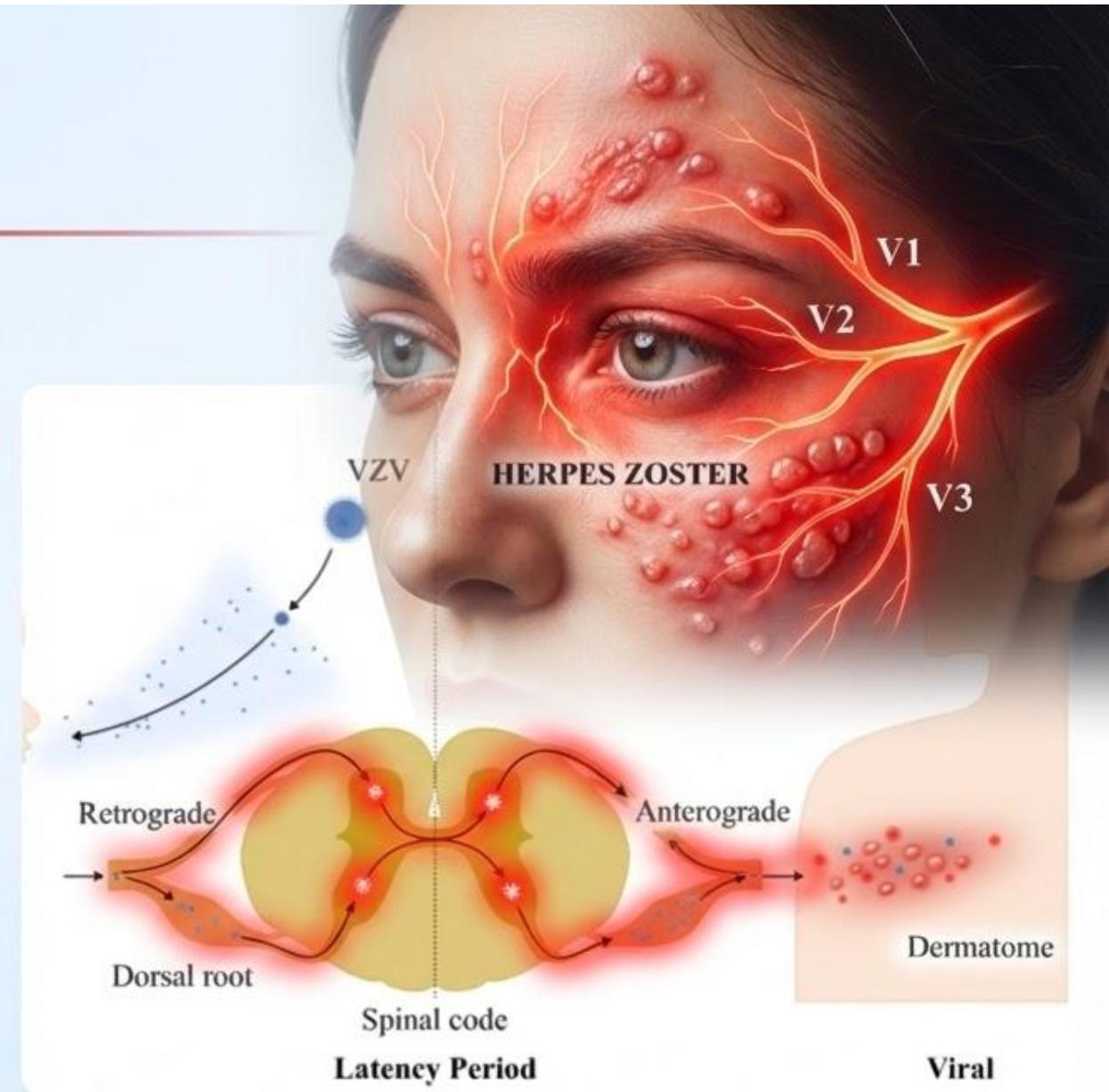
帯状疱疹の正体

体内に潜むウイルス

原因は水ぼうそうと同じウイルス（VZV）です。治癒後も神経節に潜伏し、加齢やストレスで免疫が下がると「再活性化」します。

激しい痛みの特徴

- 🔥 神経に沿って帯状に広がる発疹 🔥
- 🔥 「焼けつくような」「電気が走るような」痛み ⚡
- 🔥 皮膚症状が治まった後も痛みが続くことがある ⚡

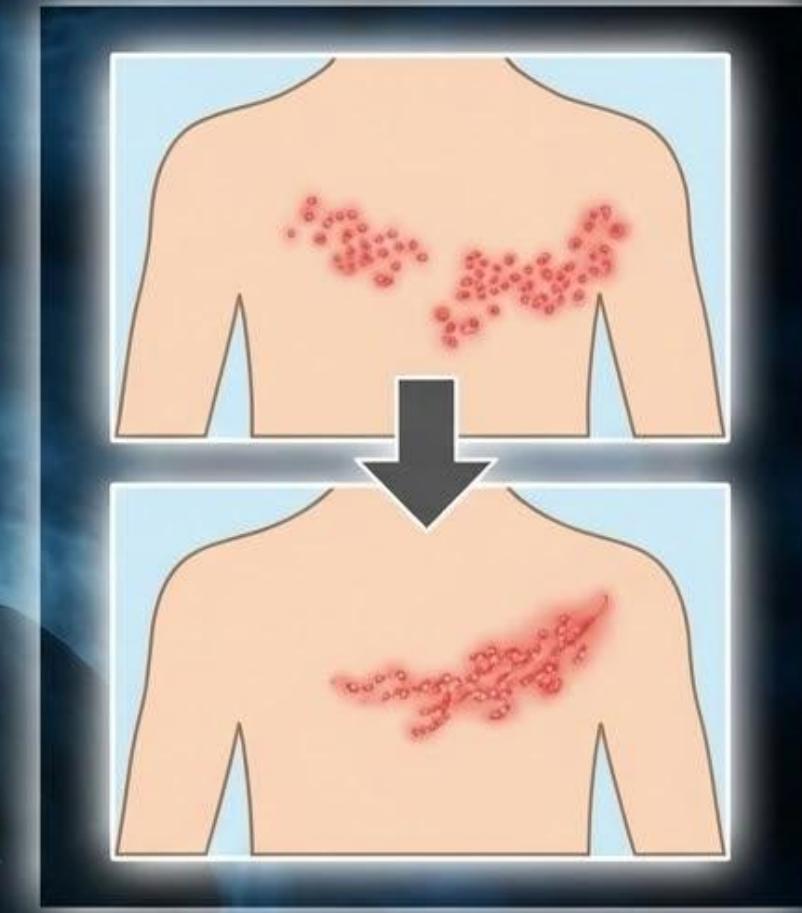


最大の脅威： 帯状疱疹後神経痛 (PHN)

3ヵ月以上続く、**執拗な痛み。**

50歳以上の患者の約2割 (19.7%) が、
皮膚が治った後も痛みが続くPHNに移行します。

「服が擦れるだけで痛い」といった症状により、睡眠障害や
うつ状態を引き起こし、QOL (生活の質) を著しく低下させます。



誰もが当事者になり得る

3人に 1人

80歳までに発症する割合

忍び寄るリスク



日本の帯状疱疹罹患率は年々増加しており、年間約60万人が発症しています。

主なリスク因子：



加齢 (50代から急増)



糖尿病
(リスク約1.2~2.4倍)



高血圧、脂質異常症



精神的ストレス、
疲労、過労

強力な予防手段 「シングリックス」ワクチン

◎圧倒的な予防効果

50歳以上で**97.2%**の発症予防効果が確認されています。70歳以上でも**89.8%**と、年齢が上がっても効果が落ちにくいのが特徴です。



✖長期的な持続性

接種後**10年以上**にわたり、高い予防効果が維持されることが研究で示されています。一度の接種シリーズで長期間の安心が得られます。

※筋肉内注射、2回接種（2ヶ月間隔）が必要です。

新たな可能性：認知症予防



脳を守るワクチン

最新の研究（Nature Medicineなど）により、シングリックス接種者は非接種者に比べ、**認知症発症リスクが約27%低減**したことが示唆されています。ウイルスの再活性化による神経炎症を抑えることが、脳の健康維持につながると考えられています。

心臓・血管へのメリット

帯状疱疹は心筋梗塞や脳卒中のリスクを高めますが、ワクチンでそのリスクを下げる事が報告されています。



出典：European Heart Journal (韓国大規模研究), IDWeek 2025 (米国研究)

未来のあなたを守るために

帯状疱疹ワクチンは、痛みの予防だけでなく、
脳と心臓の健康を守る「盾」にもなり得ます。

公費で打てる方はこの機会を、
ぜひ逃さないでください。

費用と接種対象について

シングリックス（帯状疱疹ワクチン）



接種対象とスケジュール

- 対象年齢：50歳以上（CDC推奨）
- 接種回数：2回（2-6ヶ月間隔）



当院での費用

通常料金	公費負担対象者
1回 22,000円 (税込) × 2回 = 44,000円	1回 11,000円 (税込) × 2回 = 22,000円

ご予約

接種スケジュールのご相談もお気軽にどうぞ。

忘れないうちに、お早めのWEB予約をおすすめ致します。



さく内科クリニック

総合内科・アレルギー内科

〒563-0026大阪府池田市緑丘2丁目8-16
池田みどり丘クリニックビル1F